

10. 縫製におけるパッカリングの研究

大阪市立大 田中 道一

○古作ケイ子

1. W・W の織物で、パッカリングの重要性が最近特に重要な課題となって来た。これについて、パッカリングの起る条件について理論および実験の両方面から検討することを目的とする。

2. 試料片上に円を画き、その直径にそって、たて、よこ、バイヤス方向に縫製して、そのパッカリングの起る状態を測定する。

3. バイヤス方向のパッカリングについては Shorter の、いわゆる Trellis Model に従うことを認め、理論と実験が、かなりよく一致することを見出した。